

< 海外研修報告 >

報告日 平成27年6月17日
帯広支店 菅野 義人

行程： 平成27年6月2日(火) ～ 6日(土)
研修先： 台湾（台北）
視察： COMPUTEX TAIPEI 2015
同行者： 札幌本社 山田 茂人

[行動記録]

◆6月2日（第1日目） 台北へ（帯広→新千歳空港→台湾国際空港→台北市内）



久々のJ Rと飛行機で更に海外と、昨日は落ち着かず荷作りもあり寝るのが遅く睡眠不足でしたが、気持ちは高ぶっていました。家を出発しJ Rで新千歳空港へ到着。空港で昼食を取り、しばらく日本食とお別れです。14時に山田君と合流。飛行機は新千歳から台湾への直行便でした。



飛行時間は約4時間で、機内食と映画を1本見て一息ついたら到着と移動は大変楽でした。CAさんもある程度の日本語が通じますし、日本人が1～2名は乗務していました。ただ、日本の航空会社に慣れているせいか、機内食や飲み物を配るのがとても雑な感じでしたし、入国カードを書く為に2枚持ってきて頼んだところ1枚しかないと言われ、山田君は降りてから書く破目になりました。そんな私も記入ミスにより結局降りてから書き直しとなりました。

入国審査も無事クリアし、荷物を受け取り到着ロビーへ。ガイドの呉さんと合流し、挨拶と現地通貨への換金をしました。



ホテルまでの送迎車に乗るため建物の外へ出ました。出発前の週間天気予報では台湾は、ほぼ雨または曇りとなっていたが、雨は降っていませんでした。呉さんに聞いたところ、天気は良い方で今日は涼しい方と言っていました。現地時間午後6時位で気温27度位で、湿度がとても高く蒸し暑い感じでした。建物内は冷房が効いていて、外は蒸し暑いので温度差が激しく、外に出た瞬間汗が吹き出しました。明日は33度位で湿度が高いため体感温度は3～5度位高く感じると言われました。汗ふきタオルが研修終了まで持つか心配になりました。



ところがそんな心配が吹き飛ぶような事件が、ホテルで起きました。

呉さんが、お腹すいているのであれば屋台とか案内してくれと言ってくれましたので、ホテル到着後チェックインし部屋に荷物を置いてから、トイレに行った時でした。床に何か落ちているのに気付き拾おうと前屈みになった時、胸ポケットからスマートフォンが滑り落ち、ガラス面がきれいに床にあたる感じで落ちました。恐る恐る拾って画面を見ると、画面下の左端が割れていました。とりあえずパターンロックも解除でき、カメラも起動したので安心しましたが、屋台から戻ってきて気付きました。画面上半分が操作不能。航空機モードも解除できないためWiFi接続への切り替えもできない、ただのカメラになってしまいました。翌日ですが、すべての画面操作ができなくなりただの時計になりました。それも時差が反映していない時計として。すぐさまスーツケースにしまいました。



↑ガイドの呉さん
(33歳独身、彼女有り)



呉さんの案内で屋台へ歩いて行きました。とても近く10分も歩かないうちに到着しました。観光客向けではなく市民が行く屋台へ案内してもらいました。時間は夜9時を過ぎてましたが、人が沢山いて活気がありました。呉さんの話ですと、日中は暑いので夜行動するそうです。また、夜ご飯を自宅で作る事は少なく、屋台で買って帰り家で食べたり、屋台で食べたりするそうです。

混んでいる屋台でチャーハン大を注文。台湾でも大盛りを注文。味はまあまあで、少し薄味でしたが日本人の口にも合うと思います。屋台街を歩いていると、鼻が曲がるような臭いがし、屋台を見ると“臭豆腐”と書いてありました。これが有名な・・・しばらく鼻の奥に臭いが有る感じで、ホテルに帰ってもしばらく臭い感じがしました。

初日は、ハプニングもありましたが予想外に屋台まで行けて良かったです。ホテルでは深夜までスマートフォンと格闘しましたが、疲れて寝てしまいました。

◆6月3日(第2日目) 台北市観光(故宮博物館→忠烈祠→民芸品店買い物→昼食(小梅)→茶芸体験→中正記念堂→龍山寺→占い横町→免税店ショッピング→夕食)

2日目はツアーに組み込まれている観光です。朝8時出発でガイドの号さんと運転手、私と山田君の4人で観光です。車中呉さんについて色々聞いたところ、名古屋の大学に1年間いて釧路にもホームステイした事があるそうです。日本語はその時に覚えたそうです。最初に空港で会った時は大学生位にしか見えなかったのですが、33歳独身でした。最初に訪問したのは故宮博物館。美術品や文物など総数70万点もあるため全ては展示できない。そのため展示ブース毎に数カ月毎間隔で展示物を入れ替えているそうです。行った時も何ブースかは入替のため見る事ができませんでした。中での写真撮影や飲食は禁止で、警備をしている職員が沢山いました。外での写真のみとなります。



次は忠烈祠です。辛亥革命や戦争で犠牲となった将兵が祀られています。そこを守る衛兵は、向かい合わせで約45分間、微動だにせず立って守っています。また衛兵の交代式もゆっくりとした一糸乱れぬ動きが必見です。衛兵は軍人になったばかりの18~20歳の役目だそうです。



それから、民芸店でお土産購入、昼食で台湾料理、茶芸体験と回りました。



中正紀念堂は、故蒋介石総統を偲ぶために建てられた建造物です。銅像はとても大きくここにも衛兵が両サイドで守っていました。



龍山寺はご利益のあるお寺で、神様のコンビニエンスストアといった感じです。色々な神様が祀られていてお線香を最初に買い、お参りしたい神様にお線香をあげて次々と目的の神様を回るお寺です。ここへ来れば他に行く必要が無いそうです。



夕食は呉さんを誘い、台湾式居酒屋に連れて行っていただきました。台湾式は入口で食材と調理方法を決めて注文します。メニューは中国語、英語、日本語と書いてあり注文に困る事はありませんでした。写真の料理とビール5～6本で、約2500元、日本円では約4倍なので1万円位です。呉さんも仕事外ですが気持ちよく付き合ってくれた上、案内していただいた店の料理もおいしかったです。



◆6月4日（第3日目） COMPUTEX TAIPEI 2015視察（台北南港国際展示場→台北貿易センター展示ホール→台北101→飲茶）

3日目は9時出発でCOMPUTEX TAIPEI 2015視察です。まず、地下鉄MRTで台北南港国際展示場まで移動しました。会場は広く、すべての展示を見ましたが、それだけで足が壊れそうになりました。展示場は大手ではMicrosoftやINTELのブースが広く大きく、小さい所では3畳ほどのブースも沢山ありました。見本市ですので、扱っている内容も様々で、CDケースだけ展示しているブースもありました。USB3.1のメモリーやUSB3.1のコネクタやLANケーブルのコネクターや、電源ファンや電源だけ扱っているブースと様々です。ブースでは活気良く商談しているブースもあれば、座ってスマホをいじって時間を潰しているだけのブース、紙だけ貼ってあり商品は無しでおじさん一人が座っているブースと様々でした。



次の会場は、台北貿易センター展示ホールです。台北南港国際展示場からシャトルバスで移動しました。



こちらの展示場も広く、台湾メーカであるGIGABYTEやASUS・Acer等のブースがとても広がったです。大手の展示はスマートフォンやタブレット、液晶モニタ等が多かったです。また、コンパニオンも大手は沢山いて人だかりのある場所は、コンパニオンが商品の説明を行っており、筐体のファンを持ってポージングするコンパニオンとか見ると、少し笑えました。最前列ではカメラ小僧が激写していました。私はその後ろから撮影していました。

2つの会場を見てきましたが、出店1700社以上でブースも5000以上あると知り、1日ではなく数日かけて目的のブースを見る方が良いと思います。見て回るだけで、夕方までかかってしまいました。





台北貿易センター展示ホールの前に台北101が建っています。展望会へは有料ですが登る機会はもう無いと思い登りました。料金は500元、日本円で約2000円です。この日は曇り空で、遠くまで見えませんでした。展望台からの景色は高所恐怖症の私には、股間がスースー寒気がする感じでした。帰りに1階にある有名な飲茶屋で山田君の願いである飲茶を食べて帰りました。帰りに視察で初めて雨が降りました。

◆6月5日（第4日目） 自由行動（猫空ロープウェイ→九フン[ニンベンに分]）

4日目は9時出発で自由行動。山田君と2人でぶらり台湾の旅です。猫空ロープウェイと九フンへ行く事にしました。猫空ロープウェイは全長4キロと長く、おまけに床がガラス張りの車両があります。



高所恐怖症の私ですが、山田君の情熱に負け床がクリスタルの列に並ぶ事に。通常の床の列には人は並んでいませんでした。乗車中はほぼ正面を見つめ、下を見る事はありません。風が吹くと揺れ、その度に目を閉じて祈りました。

下る時は、山田君が気を使ってくれて通常床の列から乗車。ところが、タイミングが悪く、クリスタルの車両が到着。“クリスタルOK?”と聞かれ、作り笑顔でOKと返事。また4キロの長い道のりが始まりました。

午後からは、千と千尋の神隠しのモデルとなった町、九フンへ。電車+最寄りの駅からタクシーで行く事にしました。調べた結果、この移動が時間もお金もかからない方法でした。片道50分位で一人230元位です。駅で切符を買うのも、時刻表や地図を見て窓口で購入。紙に“時間、行き先、2枚、指定席”と書いて渡して購入できました。まだ明るい時間でしたが、赤ちょうちんが灯ってきれいでした。台北に戻り夕食を取り、ホテルへ帰り帰国の準備をしました。



◆6月6日（第5日目） 帰国（台北市内→台湾国際空港→新千歳空港→帯広）

5日目は7時出発で帰国です。期間中天気が崩れる事無く良い天気でした。ガイドの呉さんもとても良い方で今回の研修が楽しく終わったのも呉さんのおかげでした。飛行機も揺れる事なく無事日本に到着しました。税関でスーツケースが重いので開けて中を見せる事に。お土産を詰めたので23キロ位ありました。後ろを振り向くと山田君も開けられてました。

山田君とは新千歳空港でお別れです。沖縄での再会を約束しガッチリ握手しお別れしました。山田君とは色々話せてとても良かったです。この研修が楽しかったのは彼のおかげでもあります。謝謝！

新千歳で電車を降りてびっくり。気温が17度と寒く扉のある部屋に逃げ込みました。帯広に到着し、娘と妻が迎えに来てくれて無事に帰宅する事ができました。



[研修の感想]

前回の研修でニューヨーク以来の海外で、行く前はとてもお腹が痛くなる感じでしたが、終わって見ればとても楽しく、時間の経過がとても速く感じました。台湾はある程度日本語が通じる安心感があったのかと思います。研修中は、肉体的には年齢と体重のせいもあり、足の裏は水ぶくれができボロボロの状態でしたが、精神的には仕事の事を忘れ（完全に忘れた訳ではありません）、観光や視察と異国の地の刺激を受け、気持ちがリフレッシュできたと思います。なかなかこちらでは切り替えが下手なので、楽しい気持ちになったのは久しぶりに思えます。

台湾は日本に近く友好国でもあるので家族の旅行でも行ってみたいと思いました。今回はこのような機会をいただき、ありがとうございます。気持ちも新たに仕事を頑張り、また研修に行けるよう努力します。

以上、報告とさせていただきます。